



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2008-09年度 No.12 9月24日発行

事務局 〒932-0211 富山県砺波市庄川町示野 121 リプロ内

TEL&FAX 0763-82-4318、inashorc@athena.ocn.ne.jp

2008-09 年度 会長 小西 勝、幹事 高瀬 顕正

2008-09年度 RI テーマ



「夢をかたちに」

(李東建会長)

例会記録

第1441回例会

平成20年9月17日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 河合副会長
2. ソング「奉仕の理想」
3. ビジター：西川雄策君(南砺 RC)
4. 会長の時間…河合副会長代理「2度目の会長の代理をします。11月に、南砺市も砺波市も選挙です。日程がはっきりせず、議員さんは準備に大変です。それから、FMとなみで、高瀬先生の法話を聞きました。先日の高柳ガバナーの自殺者増の話を引用されて、大変いい話でした。昨年、近くの友人がうつ病で自殺しましたが、何でもできる有用な人間で、私も精神的に大変ショックを受けました。その意味でためになる話でした。また、高柳ガバナーから、カシナガキクイムシの被害について電話がありました。ガバナー月信に乗せるための取材でしたので、HPを紹介しました。近々記事になるかもしれません。」



5. 委員会報告…①職業奉仕委員会(川那辺委員長)：次週は「ふなの里」で食事し、松村美術館、細川毅(挽物技術)木工展を見学します。多数参加をお願いします。②ロータリー財団(水島委員長)：先日、地区委員会に出席しました。お祭りや団体への車椅子の寄贈など、有意義な事業に地区補助金を出しているので活用を、など。③出席委員会(代理)：25名中12名出席(出席免除者8名中2名出席)・・・出席率63.16%



6. その他…水島会員：富山県表装展が9月26-28日、ヘリオスで開催。砺波地区では8年に1回。掛軸・屏風・額など展示されます。是非ご覧を！
7. ニコニコBOX(助田SAA：本日5名7,000円)
河合副会長：高瀬神社剣道大会に出席。話題の上田・山辺・柴田の県議が出席されていました。
水島会員：2週連続欠席お詫び。富山県表装展準備多忙。
荒木会員：天気恵まれ、稲収穫良好。が、世は汚染米騒ぎ、大変に遺憾。

山本会員：高瀬神社剣道大会、河合さん、坂井さん出席
お礼。井波中女子 2 回目の優勝、感激。

助田 SAA：次週、上海で、欠席します。

(9 月計 21,000 円：年度累計 125,000 円)

卓話「船の旅」

三谷貴志夫会員



三谷会員：今週は木村会員の卓話の日でしたが、急用で先週変わってほしいと依頼されました。プログラム委員長は誰かと思いきや、私でした。本日のビジターの西川さんは、同級生ですが、この前の南砺の水害で、会社の機械が水を被り、ご自宅も床上浸水したそうです。心よりお見舞い申し上げます。昨日、アメリカの大手証券会社リーマン・ブラザーズが破綻、倒産し、株が大暴落しました。日本では、総裁選挙など、悠長なことをしていて、日本経済は大丈夫なのでしょうか。

さて、本題ですが、「船の旅」というと、スローライフの象徴ともいえますが、日本にも、代表的豪華客船「ぱしふいっくびいなす」や「飛鳥Ⅱ」、「日本丸」などが運行しており、それぞれ 650 名から 700 名の定員で、優雅な旅を提供しています。先日も、「飛鳥Ⅱ」は、新湊新港に停泊、客は 1 日、瑞龍寺や五箇山探索をしたようです。1 度に 600 名を越える客が立ち寄るだけでも、その港周辺の経済効果は大きく、バス 10 数台をチャーターしての小旅行は、見ごたえがあります。

私は、家内と 8 月 10 日から 16 日まで、「飛鳥Ⅱ」で、横浜を出港し、徳島の阿波踊り見物、下

関の花火そして釜山観光という「船の旅」をしてきました。「飛鳥Ⅱ」は、5 万トン・全長 200m という大型船で、船内も広く、移動にも時間がかかります。最上階のスイートルームは 1 泊 10 万円だそうです。ある日、ロビーで船長から感謝状を贈られているセレモニーに遭遇しました。詳しく話を聞くと、300 泊以上の表彰だそうです、その人は、妙齢の婦人でした。世界 1 周で 102 泊の旅、ということは、世界 3 周ぐらいか 2 周にあちこち他の旅をしている勘定ですから、世の中には随分お金持ちで優雅な人がいるものだとつくづく感心しました。6 泊のうち 3 日は陸上に上がりましたが、ほとんどは船上で、毎日いろんなイベントがあり、スケジュールを毎朝確認して行動しました。食事や映画、舞台・ショーなど予定を立てて動きました。変わったところで、手品・紙飛行機・音楽・ダンス・ペタンク・かローリングなどの教室などがありました。賭け事は、国内では遊びのみですが、釜山に入ると OK でした。大きな風呂もあり、高齢者はそちらでゆっくりしていました。

横浜に戻って、山下公園の客船の停泊する港の大栈橋に、大きな体育館のような建物がありました。その床は水より重い木で頑丈にできているそうです。700 名もの客の荷物を税関検査して通すため、その荷物に耐えられるようになっている為だそうです。

以前、名古屋港から屋久島に「船の旅」をして以来で、こんなスローライフも時には良いものです。夢は世界 1 周ですが…

【要約：山本】

【編集後記】

三谷会員の「船の旅」、素晴らしいですね。今の世に欠けている「スローライフ」、心がけたいものです。一時、学校で叫ばれた「ゆとり教育」、この本質は大事なことだと思います。高柳ガバナーの地区目標は、「心にゆとりを、人々に愛を」でした。そういえば、昔の人はよく言うておられました、『急がば回れ』と・・・

(山本武夫)